focus

第76回

小山内建設株式会社　小山内　一真

地元を離れ、経験を積み、地元へUターンという選択。

ー猿払村の魅力

子どものころから、山や川が身近な遊び場でした。学校帰りに山菜を採ったり、川で魚を釣って、その魚を母に夜ご飯に出してもらったり、自然の中で遊ぶことが大好きでした。漁師さんからいただく魚を食べる機会も多く、とにかく魚が美味しいことも、この村の魅力のひとつだと思います。そんなふうに、自然の中で遊び、自然の恵みを味わってきた経験があるからこそ、今でも釣りを続けています。子どものころから変わらない自然の豊かさが、猿払村の大きな魅力です。

ー猿払村へ帰ってきた理由

もともと猿払村に戻ってきたいという気持ちがありました。また、以前から建築にも興味があり、もう一度建築について勉強したいという思いも持っていました。小山内建設に就職する前の3年間は工務店に勤めながら、建築について学んできました。「猿払村に戻りたい」「建築を学びたい」という2つの思いが重なり、父親が経営する小山内建設で働くことを決めました。

ー今後の目標

まずは、小山内建設の仕事を一つひとつ覚えていくことを目標にしています。

社長は小山内建設の経営だけでなく、いくつもの肩書を持って仕事をされているため、少しでも負担を減らせるよう、自分ができる仕事を増やしていきたいと思っています。100%お客様の要望に応えるという社長の方針のもと、お客様に合わせた住宅をつくっていることが小山内建設の魅力だと感じています。これからは、お客様の想いを大切にしながら、自分なりの提案を加え、「小山内建設で建てた家だ」と分かってもらえるような、小山内建設らしい家づくりを形にしていくことが目標です。